



米ドル建 オーストラリア債券オープン 毎月分配型

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型(米ドル建て)

償還交付運用報告書

作成対象期間 第6期
(2017年3月1日～2017年8月25日(償還日))

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会員のウェブサイト
(<http://www.sc.mufig.jp/>)の投資信託情報ページにて
電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により
交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで
お問い合わせください。

管理会社

**ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.**

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー
証券株式会社**

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、米ドル建 オーストラリア債券オープン
毎月分配型(以下「ファンド」といいます。)は、
2017年8月25日に繰上償還いたしました。
ファンドの投資目的は、UBS 豪ドル・債券・
インカム(以下「投資先ファンド」といいます。)
への投資を通じて、中長期的に安定したイン
カム・ゲイン(利子収入等)およびキャピタル・
ゲイン(売買益等)の獲得を目指すことにあり
ます。当期につきましてもそれに沿った運用
を行いました。ここに、最終計算期間である
第6期の運用状況をご報告申し上げます。
ご愛顧を賜り、誠に有難うございました。

第6期末	
1口当たり純資産価格	0.006333米ドル
純資産総額	5,288,334.57米ドル
第6期	
騰落率	-0.33%
1口当たり分配金合計額	0.000100米ドル

(注1)騰落率は、公表されている1口当たり純資産価格に各収益
分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定
して算出された課税前分配金再投資換算1口当たり純資産
価格に基づき計算しています。以下同じです。

(注2)1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。
以下同じです。

《運用経過》

【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

- (注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、公表されている1口当たり純資産価格に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、運用開始日(2012年8月3日)の受益証券1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。
- (注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。



第5期末の1口当たり純資産価格：

0.006454米ドル

第6期末の1口当たり純資産価格：

0.006333米ドル

第6期中の1口当たり分配金合計額：

0.000100米ドル

騰落率：

-0.33%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

投資先ファンドにおいて、当期は、期を通じて豪州債券価格が上昇(金利は低下)したことが純資産価格の上昇に寄与したものの、管理運営費用が差し引かれたことがマイナス要因となりました。

投資先ファンドとベンチマークの騰落率の状況および要因について

当期の投資先ファンドのリターンは、投資先ファンドのベンチマークであるブルームバークオーストラリア債券(総合)インデックス(Bloomberg AusBond Composite0+ Yr Index) (以下「ベンチマーク」といいます。)のリターンを下回りました。

当期におけるデュレーション戦略と社債のオーバーウェイトがリターンに対しプラス寄与となりました。一方で、個別銘柄選択がマイナス要因となり、また、管理運営費用が投資先ファンドの基準価格から差し引かれたことや8月以降の投資先ファンドの現金化がベンチマーク対比ではマイナスとなりました。

【費用の明細】

項 目	項目の概要	
管理報酬(副管理報酬を含みます。)、保管報酬および管理事務代行報酬	合計で純資産総額の年率0.10%	管理報酬(副管理報酬を含みます。)、保管報酬および管理事務代行報酬は、それぞれ、信託証書に定める管理会社としての業務、保管契約に定めるファンド資産の保管業務および管理事務代行契約に定める管理事務代行業務の対価として、ルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.に対し支払われます。
販売報酬	純資産総額の年率0.50%	販売報酬は、投資者からの申込または買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	純資産総額の年率0.05%	代行協会員報酬は、受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
投資顧問報酬	純資産総額の年率0.10%	投資顧問報酬は、投資顧問契約に定める投資顧問業務の対価として、投資顧問会社に支払われます。
受託報酬	純資産総額の年率0.01% (最低年間10,000米ドル)	受託報酬は、信託証書に定める受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
その他の費用(当期)	3.05%	ファンドの設立に係る専門家による業務等ならびに弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等および監査人等に支払う監査業務等の役務の対価として支払われます。

(注1)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、ファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



	第1期末 2013年2月末日	第2期末 2014年2月末日	第3期末 2015年2月末日	第4期末 2016年2月末日	第5期末 2017年2月末日	第6期末 2017年8月25日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.009740	0.008169	0.007256	0.006369	0.006454	0.006333
1口当たり分配金額 (米ドル)	0.000252	0.000468	0.000360	0.000250	0.000240	0.000100
騰落率 (%)	-0.10	-11.54	-7.15	-8.88	5.10	-0.33
純資産総額 (米ドル)	37,944,618.22	17,819,853.69	12,390,108.50	7,924,945.97	6,554,083.83	5,288,334.57

【投資環境について】

当期の豪州債券価格は上昇(金利は低下)しました。

豪州のGDPや中国の製造業購買担当者指数が予想を上回ったことなどから金利は上昇基調となり、豪州債券価格は下落して始まりました。その後はトランプ政権の政策実行が遅れるとの見込みや豪州の雇用などの経済指標が弱含むと金利は低下基調となり、豪州債券価格は4月後半まで上昇傾向となりましたが、欧州における政治リスクが一旦後退し、米雇用が堅調であったことが確認されると利上げ観測が高まり、再び豪州債券価格は下落しました。しかし、5月の前半に豪州の住宅指標や小売上が市場予想を大幅に下回ったことで金利は低下基調に転じ、その後も賃金や建設関連の指標が弱含むことで金利は更に低下し、豪州債券価格は上昇しました。6月終盤になり、欧州中央銀行(ECB)総裁がタカ派的発言をしたことをきっかけに、欧米金利が急上昇すると、豪州金利もつられる形で大幅上昇となり、豪州債券価格は大幅下落となりました。その後、期末にかけては欧米金利に追隨して小幅に上昇する場面もあったものの、豪州の貿易が不冴えであったことや豪州中央銀行(RBA)が成長見通しを引き下げたことで金利は徐々に低下し、豪州債券価格は上昇しました。結局前期末比で、豪州債券価格は上昇して期を終えました。

当期の豪ドル/米ドル市況は上昇(豪ドル高米ドル安)しました。

豪ドルは、期初から5月中旬にかけて、豪州の主要輸出品である鉄鉱石の価格が下落したことや、豪州金利が低下基調となったことなどを背景に、対米ドルで下落しました。しかしその後は、米連邦準備制度理事会(FRB)議長による議会証言の内容などを受け米国の利上げペースが鈍化すると観測が高まり、米ドル安圧力が強まったことや、鉄鉱石価格が反発したことなどを背景に対米ドルで上昇しました。期を通じてみると、豪ドルは対米ドルで上昇しました。

【ポートフォリオについて】

以下は、投資先ファンド(UBS豪ドル・ボンド・インカム)に関する報告です。なお、ファンドは、豪ドル建ての投資先ファンドに投資するため、豪ドルの対米ドル為替レートの変動による影響を受けます。

2017年3月～5月

投資先ファンドは、デュレーションをベンチマークに対し長期化としていましたが、4月に金利が低下したところで一部利益確定を行った後、5月末にかけて残りの長期化した部分をニュートラルに戻しました。投資先ファンドのイールドカーブ戦略については残存期間4-5年をオーバーウェイトとしました。また、社債におけるインフラ関連やオーストラリアの銀行のシニア債といった景気変動の影響を受けにくいセクターをオーバーウェイトとし、海外の銀行やREITの組み入れをアンダーウェイトとしました。州政府債についてはAA格を選好しました。当該期間中、デュレーション戦略はリターンに対しプラス寄与したものの、個別銘柄選択がマイナス要因となりました。

2017年6月～7月

投資先ファンドは、デュレーションをベンチマークに対しニュートラルを維持しました。同期間中は社債のオーバーウェイトがリターンに対しプラス寄与した一方で、個別銘柄選択がマイナス要因となりました。

2017年8月

投資先ファンドは、償還の指図を受け、8月上旬にポジションを現金化しました。

【分配金について】

当期(2017年3月1日～2017年8月25日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2)
2017/3/21	0.006427	0.000020 (0.31%)	0.000034
2017/4/18	0.006380	0.000020 (0.31%)	-0.000027
2017/5/18	0.006263	0.000020 (0.32%)	-0.000097
2017/6/19	0.006392	0.000020 (0.31%)	0.000149
2017/7/18	0.006507	0.000020 (0.31%)	0.000135

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3)2017年3月21日の直前の分配落日(2017年2月21日)における1口当たり純資産価格は、0.006413米ドルでした。

《お知らせ》

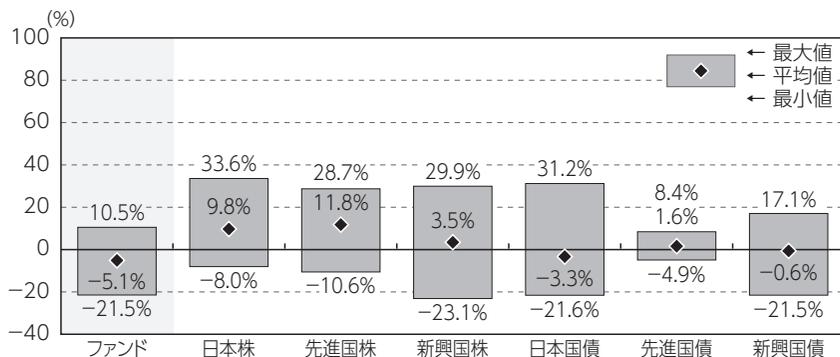
ファンドは、平成29年7月19日付の管理会社の決定により、平成29年8月25日に終了しました。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型	
信託期間	ファンドは、平成24年8月3日より運用を開始し、平成29年7月19日付の管理会社の決定により平成29年8月25日に終了しました。	
運用方針	ファンドの投資目的は、投資先ファンドへの投資を通じて、中長期的に安定したインカム・ゲイン(利子収入等)およびキャピタル・ゲイン(売買益等)の獲得を目指すことにあります。	
主要投資対象	ファンド	UBS 豪ドル・ボンド・インカム
	UBS 豪ドル・ボンド・インカム	豪ドル建ての投資適格の公社債(国債、政府機関債、準政府債(州政府債)、国際機関債、社債、ABS(アセット・バック証券)およびMBS(モーゲージ証券)等を含みます。)
ファンドの運用方法	ケイマン籍の投資信託である投資先ファンドに投資することにより運用します。	
分配方針	管理会社は、その裁量により、経費控除後の利子・配当等収益、売買益(評価益を含みます。)および分配可能な元本から、毎月18日(または、当該日が営業日でない場合には翌営業日)に分配を宣言することができます。分配金は、分配宣言から起算して4営業日以内に、受益者(日本における販売会社または販売取扱会社に受益証券の保管を委託している日本の投資者の保有する受益証券に関しては、日本における販売会社)に対して支払われます。	

(参考情報)

● ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所が作成

※ 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ ファンドについては2013年8月から2017年8月の各月末(但し、2017年8月については償還日である2017年8月25日)、また、他の代表的な資産クラスについては2012年9月から2017年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※ このグラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSA I 指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株 … MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (米ドルベース)

※ 日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

《ファンドデータ》

【ファンドの組入資産の内容】

当期末現在、有価証券等の組入れはありません。

【純資産等】

第6期末	
純資産総額	5,288,334.57米ドル
発行済口数	835,056,405口
1口当たり純資産価格	0.006333米ドル

(単位：口)

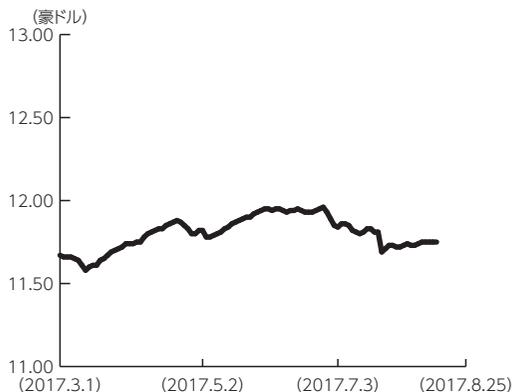
第6期中		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0	180,443,379	835,056,405
(0)	(180,443,379)	(835,056,405)

(注) ()の数は本邦内における販売、買戻しおよび発行済口数です。

【投資先ファンドの概要】(2017年3月1日～2017年8月25日)

UBS 豪ドル・ボンド・インカム

●クラスT受益証券1口当たり純資産価格の推移



●保有銘柄情報

当期末現在、有価証券等の組入れはありません。

●費用の明細

(2017年3月1日～2017年8月25日)

項目	項目の概要
投資運用報酬	クラスA受益証券およびクラスS受益証券の純資産総額の年率0.475%ならびにクラスT受益証券の純資産総額の年率0.415%
受託報酬	純資産総額の年率0.01%(最低年間10,000米ドル)
管理報酬(副管理報酬を含みます。)、保管報酬および管理事務代行報酬	純資産総額(クラスT受益証券の純資産総額を除きます。)の年率0.10%
販売報酬	クラスA受益証券の純資産総額の年率0.50%
代行協会員報酬	クラスA受益証券の純資産総額の年率0.10%
その他の費用(当期)	6.87%

(注) 各報酬については、投資先ファンドの目録見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、左記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの左記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。